

事業所における自己評価結果 (公表)

公表: 令和6年1月31日

事業所名 放課後等デイサービスMIXED JUICE

		チェック項目	はい	どちらともいえない/わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			身体を動かすエリア、座って過ごすエリアを分け、安全に過ごせるよう配慮。	
	②	職員の配置数は適切である	4	1		定められた基準以上の職員数を配置できている。	体調不良等で欠員が出ることもある。引き続き加配のパート社員を募集中。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			屋外スロープあり。車イス用トイレあり。室内は完全フラット化されている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		ケース会議を実施し、課題や療育案を議論し、共有に務めているが、パート社員などが会議に参加できないことがある。	パート社員には出勤時、責任者から会議内容の共有、会議録の閲覧を行い、同じ方向性で支援ができるよう務める。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			自己評価と平行して実施中。	引き続き年度ごとに必ず実施する。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		初年度のため、実績なし。今回が初の公開となる。	引き続き年度ごとに必ず実施する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		1	第三者機関による評価は受けていない。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	1	外部研修に参加した社員もいる。	全体研修を行える機会は少ない。年度内に全体研修を実施予定。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			児童の課題や成長した点などを朝礼等で確認し、支援方法を検討している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1	独自に作成したアセスメントシートを使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			月ごとに各社員から活動内容を募り、取りまとめて活動を行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			同じ活動でも、児童の課題や能力に応じ、手法を変えて進行している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5			長時間の支援となる場合は適度に休息を挟むなど。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			個別活動として作業やプリントも行いつつ、集団活動を主軸に運営している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	5			必ず朝礼を行い、送迎や支援内容の確認、連絡事項の共有を行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3			終礼は行っておらず、明確な振り返りの時間はない。場合によっては終礼の開催も検討。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			支援終了後に、当日利用児童の支援記録を記入している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			半年に1回以上、計画の振り返り、見直しを行っている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない/わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5			自立支援と日常生活の充実のための活動や創作活動に重点を置きつつ、長期休暇や祝日などは余暇活動も取り入れている。	
	②0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		児童発達支援管理責任者が出席している。	
	②1	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			メールや電話にて対応できる体制を整えている。	
	②2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	1		医ケア児の利用実績なし。
	②3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		5		以前通っていた放デイから書面にて申し送りを受けたことはある。	必要であれば他事業所や過去の利用事業所とも連絡を取れる体制を整備。
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	1	移行期の児童がいないため、実績なし。	
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	3		必要であれば、研修受講や連携を行える体制作りを整える。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	3	公園等で地元の児童や保護者との関わりはある。	
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		2	3		
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			送迎の際に、必ずその日の児童の様子や活動内容を説明している。	
保護者への説明責任等	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	1	送迎や電話、面談時に相談、助言を行うことがある。	
	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2		契約時に説明を行っている。	
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		送迎や電話、面談時に相談、助言を行うことがある。	
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		1	4	開催実績なし。	要望が多ければ、開催を検討する。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1			
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			月に1回、会報にて情報発信している。	
	③5	個人情報に十分注意している	5			個人情報に関わる書類は、鍵付書庫に保管。	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		1	4		要望が多ければ、イベント開催を検討する。

		チェック項目	はい	どちらともいえない・わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		入社時にマニュアルの読み合わせを行っている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3	2		2月に実施予定。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		5			年度内に虐待防止研修を実施予定。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1	1	身体拘束を実施した例はない。契約時、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかを説明している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2			
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	1	ヒヤリハット報告書を書面で保管しているが、定期的に確認するような声かけを行っていない。	定期的にヒヤリハットの共有を行い、全員が書面を確認し、対応策を周知できるよう務める。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価を集計したものです。